

インクルーシブ教育システムにおける美術（1）

－特別支援学校および卒業後の多様な実践事例の検討－

企画者	池田吏志（広島大学）
司会者	池田吏志（広島大学）
話題提供者	柴田洋佑（広島県立福山北特別支援学校） 北島珠水（秋田県立栗田支援学校） 高橋智子（静岡大学） 池田吏志（広島大学） 大江登美子（佐賀女子短期大学）
指定討論者	池永真義（至学館大学）

KEY WORDS: 美術の目的 特別支援学校 指導・支援の特質と連続性

【企画趣旨】

池田ら（2017）の調査では、全国の99.2%の特別支援学校で図工・美術や造形活動（以後、美術と記す）が行われ、週に平均1.83コマ（約96分）の授業が実施されている。その反面、指導を行っている教員は教員養成課程や着任後に美術の指導に関する学習・研修の機会をほとんど得られておらず、職能成長は自助努力に一任されている現状がある。また、多くの教員は美術の指導に困難を感じている。これらの課題を踏まえ、本シンポジウムでは知的、病弱、肢体不自由の各特別支援学校における美術、及び卒業後の実践を取り上げ、各校種や卒業後に美術で何が目指され、どのような活動が行われ、どのような成果があるのかを報告する。各発表では、作品至上主義に陥らない美術の多様な教育可能性をコンピテンシー・ベースで示す。

【話題提供者の趣旨】

1. 美術を通じた言語活動の活性化

－知的特別支援学校より 1－（柴田洋佑）

本研究では、これまで特別支援学校の美術ではあまり取り上げられることが無かった鑑賞活動に着目し、①対話型鑑賞、②ポートフォリオの活用、③鑑賞・制作の相互実施を取り入れた実践を行った。質的調査法を用いたビデオ映像の分析、及び発話量の測定により、生徒の発話をカテゴリ化すると共に継時的な量的変化を見取った。その結果、制作の始めは生徒対教員であった対話が生徒対生徒へ移行し、発話量が増加する姿を捉えることができた。

2. 美術を媒介とした組織間連携

－知的特別支援学校より 2－（北島珠水）

障害のある子どもたちが充実した社会生活を送るためには、健常児・者と障害児・者が限定的な機会ではなく継続的に出会える場をつくる必要がある。そこで美術は出会いの場として、人と人をつなぐ方法として有効なのではないかと考え、①美大生と連携したきりたんぼプロジェクト、②保育園との交流、③通常学級の児童、生徒との縄文プロジェクトを実施した。これらの結果、美術は組織どうしの連携を促進する媒介として有効であり、子供と大人双方の意識を変えていく成果が得られた。

3. 美術を通じた表現意欲の向上

－病弱特別支援学校より－（高橋智子）

本研究では、病院内学級に在籍する小学生と中学生46名を対象に、美術の表現意欲に関する質問紙調査を実施した。調査は授業実施後に行い、意欲の有無と意欲に影響を与えた理由（14項目・複数回答）について問うた。その結果、表現意欲に影響を与えている項目は「経験」、「他者評価」、「満足感」、「説明」であった。これらのことから、事前の実態把握や授業過程における人との関わり（指導・支援含む）等の重要性が明らかになった。

4. 美術を通じた重度・重複障害児の意欲向上と能力発揮

－肢体不自由特別支援学校より－（池田吏志）

本研究では、重複障害学級に在籍する横地分類A1～A4の重度・重複障害児を対象とした、意欲の向上と能力発揮を目指す美術の指導理論の構築を目指した。アクション・リサーチでは、児童生徒の実態を基軸とした題材開発、教材づくり、評価、授業改善の仮説を設定し、通常行われる授業で検証した。その結果、障害程度の類型化と類型化に応じた教員の役割を明示することに効果がみられた。

5. 美術による生活の質の保持

－特別支援学校卒業後－（大江登美子）

特別支援学校卒業後に、いかに在籍時の生活の質を保持するかという点は検討すべき重要な課題である。本研究では、「自由に表現活動をする場を子ども達に」という保護者の願いを受けて立ち上げられた①「はーとあーと倶楽部」の事例、厚生労働省「障害者の芸術活動支援モデル事業」における②「Sブリュット」の事例、そして、「佐賀さいこう！アートプロジェクト」に採択された③「さがんなかであれつつあーと」の事例を紹介する。発表者による活動支援の現状と課題、及び卒業後に活動を継続させることの可能性と展望を報告する。

【指定討論】

カリキュラム開発に向け、各校種間及び卒業後の学びと指導の特質、及び連続性を整理し、今後特別支援学級や一般学級における美術の指導にも接続できる糸口を探る。

（IKEDA Satoshi, SHIBATA Yosuke, KITAJIMA Tamami, TAKAHASHI Tomoko, Ooe Tomiko, IKENAGA Shingi）